

Ceramics Japan: Tracing Japanese Modern through Ceramics

# セラミックス・ジャパン

陶磁器でたどる日本のモダン



渋谷区立 松濤美術館  
THE SHOTO MUSEUM OF ART

2016 12.13(火) ~ 2017 1.29(日)  
〈前期〉12.13(火)~1.9(月・祝) 〈後期〉1.11(木)~1.29(日)  
※会期中、一部展示替えがあります。

## 展覧会概要

本展は、近代の日本で作られた陶磁器のデザインを概観する初めての展覧会です。幕末から明治時代初期にかけて開催された万国博覧会への出展などによって日本の浮世絵や工芸品は一躍脚光を浴び、西洋ではジャポニスム（日本趣味）がわき起こりました。陶芸においては、京都や九谷などの江戸時代から続く産地以外に、東京や横浜、名古屋などでも、日本画的な装飾をまとった陶磁器が大量に作られ、海外へ輸出されていきました。その後、日本の美術や工芸などを源泉としたアール・ヌーヴォーが欧米で大流行すると、明治時代後期には日本でもこの影響を受けて陶磁器の分野でも図案研究などが盛んとなりました。大正時代以降は、こうしたデザイン活動が広く展開されるとともに、制作者の個性が大きく反映されていきます。国内においても生活用品である陶磁器にも暮らしに彩りを添えるための新たなデザインが求められるようになりしました。また、陶磁器メーカーでは国内外向けの製品が量産され、食器以外にタイルなどの建材も生産されました。

本展では、明治維新から第二次世界大戦までの約 70 年におよぶ、近代日本陶磁器の創意にあふれたデザインの流れを 161 件の作品で紹介します。



広報用画像①

《新製マジョリカ額皿》東京高等工業学校窯業科／板谷波山  
1905（明治 38）年 東京工業大学博物館蔵

約 70 年の陶磁器デザインを  
161 件で一気にお見せします



渋谷区立 松濤美術館  
THE SHOTO MUSEUM OF ART

## 展覧会のみどころ



広報用画像②  
《上絵金彩獅子鈕付壺》新村留蔵 19世紀後期(明治時代前期)  
個人蔵

東京薩摩の一对の蓋付壺。金彩を伴う日本画的な  
絵付けはジャポニスム（日本趣味）として海外で  
熱狂的な人気を博した。



広報用画像③  
《菊文様皿》 図案：浅井忠／制作：清水六兵衛（四代）  
1907（明治40）年  
京都工芸繊維大学美術工芸資料館蔵（AN.5461）  
皿の一部に菊をかたどった斬新なデザイン  
の作品。浅井忠（1856-1907）はパリで流行したアール・  
ヌーヴォーをいち早くとり入れた先駆者で、  
京都に革新的なデザインの風を吹き込んだ。



広報用画像④  
《タイル》 淡陶株式会社、佐治タイル、佐藤化粧煉瓦他  
20世紀前期（明治時代末期～昭和時代初期） 個人蔵  
西洋風建築が増える明治時代にタイルメーカーが  
次々と創業し、室内装飾用タイルの国産体制が本  
格化した時期の優品の数々。



広報用画像⑤  
《陶試紅銀彩碗皿》香蘭社 1941-43年頃(昭和10年代後半)  
日本陶業連盟蔵  
国内外の磁器市場で存在感を示した香蘭社による  
カップとソーサー。社会生活の近代化に伴って生  
活用品としての陶磁器にも新たなデザインが求め  
られた。

## 会期中のイベント

### 展覧会関連イベント

#### ●講演会：「デザインありてこそ—焼物から窯業へ」

森 仁史 氏

(本展監修者、金沢美術工芸大学 柳宗理記念デザイン研究所)

1月15日(日) 午後2時～

\*要入館料 \*定員 80名 \*事前予約の必要はありません。  
\*直接、地下2階ホールへお越しください。

#### ●当館学芸員によるギャラリートーク

12月16日(金)、1月8日(日)、22日(日)

各回午後2時～

\*要入館料 \*事前予約の必要はありません。

#### ●ワークショップ

##### 「モザイクタイルのコースター作り」

世界で1点だけのオリジナルコースターをお作りいただけます。

1月7日(土) 午前11時～、午後2時～、4時～

\*要入館料 \*各回定員 20名  
\*事前予約の必要はありません。  
\*直接、地下2階ホールへお越しください。



モザイクタイルの  
コースター

### その他のイベント

#### ♪チェロコンサート

出演 竹花加奈子氏

1月14日(土) 午後2時～

\*要入館料 \*定員 80名 (応募者多数の場合は抽選)  
\*地下2階ホールで行います。  
\*事前申し込みが必要です。  
\*往復ハガキに、①郵便番号・住所 ②氏名(ふりがな) ③年齢  
④電話番号 ⑤希望人数(1通につき2名まで)を明記し、  
下記宛先までご郵送ください。  
宛先：〒150-0046 東京都渋谷区松濤2-14-14  
渋谷区立松濤美術館 チェロコンサート係  
締切：12月22日(木) (必着)  
\*演奏曲目などは美術館 HP に 11月上旬ごろ掲載予定です。



竹花加奈子氏

#### ●館内建築ツアー

12月16日(金)、23日(金・祝)、  
1月6日(金)、13日(金)、20日(金)、27日(金)  
各日午後6時～6時30分

12月17日(土) 午後4時～4時30分

\*要入館料 \*各回定員 20名 \*事前予約の必要はありません。

## 次回展のご案内

### 2017 松濤美術館公募展

2017年2月12日(日)～26日(日)

#### サロン展

坂田 燦の木版画を通して見る—「おくのほそ道」(仮称)

2017年2月12日(日)～26日(日)、

3月4日(土)～19日(日)





## 開催概要

- 展覧会名 「セラミックス・ジャパン 陶磁器でたどる日本のモダン」  
会期 2016年12月13日(火)～2017年1月29日(日)  
前期：12月13日(火)～1月9日(月・祝) 後期：1月11日(水)～1月29日(日)  
※会期中、一部展示替えがあります。
- 開館時間 午前10時～午後6時(入館は午後5時30分まで)  
※金曜は午後8時閉館(入館は午後7時30分まで)
- 入館料 一般500(400)円・大学生400(320)円・高校生250(200)円  
小中学生100(80)円・60歳以上250(200)円  
※( )内は団体10名以上及び渋谷区民の入館料  
※土・日曜日、祝休日は小中学生無料  
※毎週金曜日は渋谷区民無料  
※障がい者及び付添の方各1名は無料
- 休館日 2016年12月19日(月)、26日(月)、29日(木)～2017年1月3日(火)、  
10日(火)、16日(月)、23日(月)
- 主催 渋谷区立松濤美術館  
会場 渋谷区立松濤美術館  
〒150-0046 東京都渋谷区松濤2-14-14  
電話：03-3465-9421 <http://www.shoto-museum.jp/>
- 交通案内 京王井の頭線 神泉駅下車徒歩5分  
JR・東京メトロ・東急電鉄 渋谷駅下車徒歩15分



お問い合わせ 渋谷区立松濤美術館 (担当：鈴木・増田 展覧会担当：増田・大平)

※広報に関するお問い合わせ(広報用画像もご用意しております。)

電話：03-3465-9421 FAX：03-3460-6366 E-mail：[info@shoto-museum.jp](mailto:info@shoto-museum.jp)